

会議録

(1) 会議名

令和4年度第4回北杜市清里地域活性化委員会

(2) 開催日時

令和5年3月29日(水) 午後2時00分～3時40分

(3) 開催場所

北杜市役所 高根総合支所 2階大会議室

(4) 出席者

委員

関係団体を代表する者	小野	光一
関係団体を代表する者	三井	健一
関係団体を代表する者	酒井	久欣
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	輿水	順彦
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	小林	昭治
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	五味	愛美
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	船木	良
学識経験者	安藤	勝洋
関係行政機関職員	小泉	嘉透
その他市長が必要と認めるもの	中村	洋一

市役所(事務局)

観光課長 土屋 直己(司会)
国際・観光戦略官 古谷健一郎
観光課 観光振興担当リーダー 長坂 恵一
観光課 観光振興担当 溝口 有紀
観光地域おこし協力隊 神谷 龍範
観光地域おこし協力隊 築澤 晶子
まちづくり推進課長 末木 陽一

(5) 議題

- (1) ワーキンググループからの報告について
- (2) その他

(6) 公開・非公開の別 公開

(7) 傍聴人の数 4名

(8) 議事の進行経過

1. 開会

(事務局)「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第4条により公開する。本日の会議への傍聴人が4名であることを報告し、傍聴人が入室。

会議録については、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第9条により会議の会議録を作成し、同要綱10条により公表する。会議録には会議で指名する者、2名以上の署名が必要であり、議事録署名人を委員の方々から指名。「委員名簿」順で、小林昭治委員と五味愛美委員を指名。

2. 委員長あいさつ

3. 議事

(事務局)協議会設置要綱第6条に基づき、委員長に議事の進行をお願いする。

(議長)議事(1)ワーキンググループからの報告について、ワーキンググループより説明をする。委員長がワーキンググループメンバーであることから委員長より説明する。

(委員長)前回12月の委員会以降のワーキンググループの経過について報告後、この冊子の内容を資料に基づき説明。

この冊子は、ポールラッシュさんをはじめ、多くの方の発した言葉を収め、まとめている。初めのプロローグは、「希望」を実現するために、観光を軸に自然環境への姿勢や開拓の精神などをまとめた。

目次となるページは、#1から#6までの項目に分け、今年度取り組んできたことと、来年度以降に継続していくことで整理をし、今よりも良い清里に変化していくことを記した。

#1 WGから見えてきた価値と課題、それを伝えるイメージ、さらに共有するための条文イメージでは、清里で大切にしていきたいルール、要素を清里のイメージ冊子にするならば、というイメージを記載している。

#2 清里ルール 清里高原のOKとNGでは、大切にしたい原則、ルールを記載し、例えばOKの項目では、「自分の好きを大切にしよう」、「他人の好きを尊重しよう」など、NGの項目では、「他人の足を引っ張らない」、「同調圧力をかけない」など、キャッチフレーズ的な言葉で記した。また、先人に対するリスペクトを忘れない、伝統や文化を大切にするなど、次に新しい時代を作っていくうえで、これまでのことに対するリスペクトを忘れずに動いていこうというキーワードを記し、それらは全ての希望に繋がっていくとまとめている。

#3 伝えるについて、ルールを作っていく中で、人の顔が見えなくなっているなどの課題が上がり、どんな人がどんな思いで清里に関わっているのか、ルール、衣食住の情報など、清里を一元的に伝えることができる総合的なWEBサイトが必要ではないか。WEBだけでなく冊子を配布することも必要ではないかとまとめている。

#4 清里の参加の仕方について、ルールができていく中で新しい事業だけでなく、これまでのイベントなどに多様な参加者を増やしていく仕組みが必要であり、ルールに基づきながら、自律分散型・行政支援型、起業ビジネス型が考えられる仕組みである。各仕組みは、それぞれ独立したものではなく、都度選

択して実施できるような仕組みとなれば良いとまとめている。

#5 清里の仕組みづくり その例については、清里内部の人に限らず、トライアルラボなど、清里で新たにチャレンジしていくことを支援する仕組みが良い。例えば、空き店舗を利用した取り組みや、清里だからこそできるクリスマスイベント、清里クリーンキャンペーン×環境教育、清里と大学生、清里ファンクラブの設立など、多様な参加者を集められる素地、素材が清里にはあふれている。事例として、富士吉田市のハタオリマチ相談車を取り上げ、街の活動が視覚化され、参加する人が増えている事例を例として挙げている。

#6 清里が変わる。だから北杜も変わる。については、ルールを作り、多様な取り組みが生まれていくことで、清里が変わっていくというまとめである。何年という期限は定めていないが、清里がアップデートし、次の時代を作っていく。この冊子でワーキングとしてまとめたところである。

他、ワーキングメンバーから補足などあるか。

(委員) 全てをまとまり切れていない点はWGとしても承知している。物事を企画していくのには、段階があると思う。情報を共有し、アイデアを出し合い、みんなで練って、混乱・混沌があり、結果に向かい収束していくというのが企画の流れと思っている。WGでは、清里の活性化には、イベントが良いか、美化活動がいいか様々な意見、話し合いをした中で、ルールブックが面白いのではないかと行きついた。

今、清里ではコロナ禍が開けてきて、学校寮、駅前、牧場通りや浅川地区でもいくつか店が出来てきたりして、変わってきている。このタイミングで、「清里がこういうところだ」というルールをつくり、環境や歴史を共有できることは良いタイミングだと思う。早く皆さんに見てもらいたいと考えている。

冊子では、「こんにちは。清里です。」から始まり、「チャレンジャー歓迎な訳」、「カッコいい人たちがいること」、「どこか異国、そしてオンリーワンな色使い」、「ヒーロー、ヒロインがいっぱいいること」、「自分発生の秀逸イベント」を楽しんでいること、観光地栄枯盛衰を体験した清里が「観光地のあり方を誰よりも考えたい」こと、環境と関わり合いが深い「サステナブルがあたりまえ」な訳を記した。清里高原のOK、NGは、地域でみんなを守り、盛り上げていくというのがワーキンググループで出した答えだと思う。来年度、WGどうなっていくかわからないが、ルールブックが早く人目に触れるようになれば良いなと思う。(委員) この冊子をつくり、ここからスタートし、事業を推進していくということだと思っている。今後も力添えをもらって清里が元気になっていく。清里元気あるぞと伝えたい。

(委員) この方針が決定となれば、清里の各地区にも広めていきたい。行政区としても盛り上げていきたいと思っている。

(委員) 清里で長年働いている。様々な会に関わって来た。その都度、何かすぐには実行、行動に移すのは難しいと思っている。しかし、ワーキンググループに参加する中で続けていくということは大切だと思った。標題の「夢」は大切だと思う。物事を実現する上で絶対に必要なこと。私は年を取って、新しいことを始めて、最後までやり切ることが出来ないと思い、ためらってしまっていた。ワーキンググループに参加する中で変わった。私は出来ないから、若い人に任せてというのは違うと思う。この冊子は、総論みたいなもので、実際の行動にしていかな

ければ空論になってしまう。夢を現実にするという、いい時間をいただいたと思っている。過去も、今も清里には、いろんな人が来ていて、楽しいこと、面白いこと、いろんなことができたらいいと思っている。

(議長) 提案の内容について、質問があったらお願いしたい。

(委員) WGの思いはわかった。4月以降に委員会で何をやるのか。役員も変わり、別の人間が来るので、具体的なことを伝えないとならない。冊子を作るということか。委員会でも意見が出やすいかと思うが。

(委員) 同時進行でなければならぬと思う。ルールを作ってからということを守って待っているのはダメだと思う。行動も伴わないといけない。行政も入っていることから、我々だけでは出来ないことは力を借りていきたい。この会が来年どうなるか現状はわからない。

(委員) 何かアクションを起こさないとならないのではないかと。他地域でもぽつぽつと案は出る。しかし話し合いで終わってしまうことをよく見る。取り組みなく終わってしまうので、何かアクションは必要ではないか。

(事務局) 令和5年度予算も議会で成立し、お話できる段階となった。仕組みづくりでお諮りいただきたい点がある。やりやすい仕組みとアウトプットづくりにあるが、例に挙げた仕組みを来年早々に決めていきたい。市としては、そのために、WGは続けていただきたい。委員会は、この提言で終わりとするのか、この活動を共有して行く会として残していくのか諮っていただきたい。

(委員長) 議事に追加で取り扱うということか。

(事務局) その通り。

(委員長) では、冊子の中身と委員会の継続か否かは別に諮る。中身について他意見はないか。

(委員) ルールブックをつくるというのは、非常に面白い取り組みだと思った。ルール作りをするということは、行動することを前提にやっていることと思う。

行政が関わるということであれば、清里レッドや、清里ブルーなど景観条例へ、この内容を反映させるのかといったこともあってよいことだと思う。

また、廃墟の問題について、観光庁でも全国的な問題として大きな額の補助金事業が出ている。これらも取り入れていってはどうか。目に見えて変わる変化があれば、より変わっていくのではないかと。行政としては、お手伝いできることはやっていきたいと思っている。

標題の「夢かける高原」がよくわからないので、内容を教えて欲しい。

(委員) 「夢かける高原」は、ポールラッシュをわかりやすく伝えるアニメーションの題名がもとである。夢が巡っているという意味あいである。補足として、題名には「集える」という言葉を添えているが、行政的な縛りも必要だとは思いますが、包容力のある土地としてタイトルに含んでいる。

(事務局) 観光庁の補助事業について、清里だけではなく、市内事業者にも広く声掛けをさせていただいており、現在のところ15社ほど手を挙げていただいている。4月25日を目途に市において募集をしている。過去から課題であり、地域からも御要望いただいていた案件である。ぜひ委員の皆様の方々の周りの方々の活用いただけるよう、お声がけいただきたい。

(議長) 冊子の説明内容と、委員会の継続について諮りたいがいかがか。

(委員) WGは良いが、委員会をどうするかということだと思う。清里はケース

スタディーであり、市内の他の地域にも広がっていくことだと思うが。

(事務局) 委員会から派生したWGですので、市が事務局として関わるならば委員会も継続できればと考えている。

(委員長) 委員会とWGを継続していくことについてどうか

(委員) 観光庁などでも委員会などあるが、委員会は期間の中で成果出すもの。1つ、2つの成果を出したというものに、補助していくということだと思うが、出来ればそのようになればと思う。

(委員) このページは、未完成のようだが、このまま出すということか。

(事務局) イメージを載せたもの。

(委員) 冊子が良いか、WEBが良いかも結論には至っていない。

(委員) ネット社会とは言っても、老若男女いるの、紙で出すということも必要だと思う。

(事務局) WG 継続の中で、紙媒体の必要性は検討していきたい。WG が継続できることが、大切。

(委員長) 改めて提言の中身と委員会とワーキングの継続について諮るがどうか。賛成の方は拍手求める

(委員) 全委員拍手

(議長) 承認されたものと認める。2 その他委員から意見はあるか。

(委員) R5の事業の具体化については、期限の設定はしないのか。形にはいつするのか。

(事務局) 来年度予算の話は出来ないが、R5 予算については、3月31日までに成果物を作るのであれば、そこまでに終える必要ある。話し合いで次年度以降も続けていくとなれば、11月、12月は方針を出す必要はある。例えば提言書にあるクリスマスに向けた活動ならば、その時期に成果を出していただく。

(委員) スケジュールとして、会議しただけではダメなので、具体的なアクションが必要。WG で案出しをするのか。事務局で案出しをするのか。

(事務局) 遅くても、来年度上半期には、やることは決めて行動へ移す見込み。

(委員) 実験的にやる方が良い。しかし、期限を決めないと進まない。WG において、人もお金も検討した上で、委員会で諮って進めていくのか。

(事務局) 次回委員会には、スケジュールを示したい。

(委員) 別の委員から観光庁の補助金の話があった。〇〇のような廃墟の撤去できるのか、できないのか。同物件は、財産の放棄がなされ、国有となっているのだと思うが。

(事務局) 観光庁のメニューについては、民間の建物に対してということである。

(事務局) 観光庁のメニューは、観光地において空き家問題があり、その後の跡地利用も含めて行う取り組みだと思う。空き家については、国土交通省、総務省で所管しており、市の所管は、まちづくり推進課である。空き家には定義があり、行政の対応にもいくつかのパターンがある。今、話に出た物件は承知している。評価の定義にはめ、対象となる物件については、行政代執行などの検討を進めることはできる。しかし、個別案件については、個人情報でもありここで申し上げることはできない。

(議長) 他あるか。

(委員) 来年度の予算執行について、WG で意見をまとめ、委員会に認められた

ら進めていくという話であったと思うが、それでは時間を要してしまう。
(事務局) どのように予算執行を進めていくは、関係団体との調整が必要なため、もう少しお時間いただきたい。
(議長) その他の議題あるか。
(事務局) ない。
(議長) 議事を終了する。進行を事務局へ戻す。
(司会) 4月に委員長又は他委員の皆さんから、市長への提言をする機会を作るのでよろしくお願いしたい。

4. 閉会の挨拶

午後3時40分終了

令和 年 月 日

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印